

# 藤原さん(岡山大大学院)ら仁科賞

仁科顕彰会(会長・伊原木隆太県知事)は11日、優秀な研究成果を上げた県内の理工系大学院修了予定者に贈る「仁科賞」の2018年度受賞者4人を発表した。授与式は19日に県庁で行う。

受賞者は、岡山大学院自然科学研究科博士後期課程(数理物理学)の藤原弘和さん(27)、同博士前期課程(電子情報システム工学)の南條由紀さん(23)、岡山理科大学院総合情報研究科博士

課程(数理・環境システム)の黒木出さん(31)、県立大学院情報系工学研究科博士後期課程(システム工学)の榎田亜由美さん(33)。

藤原さんは、金属の一種であるハーフメタルの伝導電子のスピン(磁気)の向きが温度が上がるとふぞろいになることを発見した。南條さんは、情報セキュリティ技術の一つである楢円ペアリング暗号の効率化に挑戦。黒木さんは、日本に生



黒木出さん



藤原弘和さん



榎田亜由美さん



南條由紀さん

息しているトビイロケアが地面の温度を参考にして産卵期を判断していることを突き止めた。榎田さんは、画像処理に使う「CMO Sイメージセンサー」の製造工程で混入する金属不純物を低減させることに成功した。同賞は里庄町出身の物理学者・仁科芳雄博士(1890～1951年)にちなんで66年度に創設。受賞者は今回を含め142人となった。(水嶋佑香)